

## 市販雑誌への執筆（2019年以降）

2019年3月春号 季刊雑誌「農耕と園芸」52頁～57頁

新連載1「栄養素の新知識」

農水省が硝酸性チッ素を機能性成分として認めた

硝酸イオンは緑内障の予防にも効果

2019年6月夏号 季刊雑誌「農耕と園芸」45頁～50頁

連載3「栄養素の新知識」

日本の土壌は亜鉛不足、高齢者の3分の1は亜鉛欠乏

2019年9月秋号 季刊雑誌「農耕と園芸」46頁～51頁

連載3「栄養素の新知識」

アブラナ科野菜は大量のホウ素を要求する

ホウ素は、ガンを抑制し、骨形成、長寿、ヒトの健康に必須

2019年12月冬号 季刊雑誌「農耕と園芸」67頁～72頁

連載4「栄養素の新常識」

ケイ酸は2015年にすべての植物に対して「価値ある物質」と認められた

ヒトに対してはオステオカルシンを合成し若返り物質として作用する

2020年3月春号 季刊雑誌「農耕と園芸」49頁～54頁

連載5「栄養素の新常識」

作物のマグネシウム欠乏では根の生育が悪く、収穫物の品質も低下

ヒトに対してはアディポネクチン（長寿ホルモン）の生成に関与し、

循環器疾患、大腸がん等の予防に効果

2020年6月夏号 季刊雑誌「農耕と園芸」57頁～62頁

連載6「栄養素の新常識」

鉄は還元状態では二価鉄になり鉄毒性を示す

鉄毒性は土壌中の病原菌だけでなく、雑草種子も殺す

タンニン鉄の葉面散布で驚異的な効果

2020年9月秋号 季刊雑誌「農耕と園芸」53頁～56頁

バイオスティミュラントについて（特集記事に執筆）

鉄、アラニン、コリン等、エタノールについて

2020年9月秋号 季刊雑誌「農耕と園芸」69頁～74頁

連載7「栄養素の新常識」

CO<sub>2</sub>が地球温暖化の主要因節はウソ

近年の異常気象は太陽磁場の低下が主要因

適切な濃度のCO<sub>2</sub>は、作物の収量を増やす

2020年12月冬号 季刊雑誌「農耕と園芸」63頁～68頁

連載8「栄養素の新常識」

CH<sub>0</sub>の積極的な供給

リービッヒも驚く新発見

植物は植物油を利用できる

2020年12月冬号 季刊雑誌「農耕と園芸」55頁～58頁

エタノールを利用したCH<sub>0</sub>の葉面散布で

巨大で高品質なブドウ生産

(前記連載記事の実践農家訪問記)

2021年3月春号 季刊雑誌「農耕と園芸」58頁～64頁

連載10「栄養素の新常識」

堆肥多量連用で生じるMn欠乏は畑でも水田でも発生、

Mn欠乏植物はオレイン酸を減少させ、リノール酸を増やす。

リノール酸過剰摂取(植物油脂、マーガリンなど)は、ヒトの健康を害する

2021年6月夏号 季刊雑誌「農耕と園芸」70頁～76頁

連載11「栄養素の新常識」

三要素試験から学ぼう！

堆肥施肥で水田の収量低下を予防

麦作・畑作ではカルシウム施用が必須